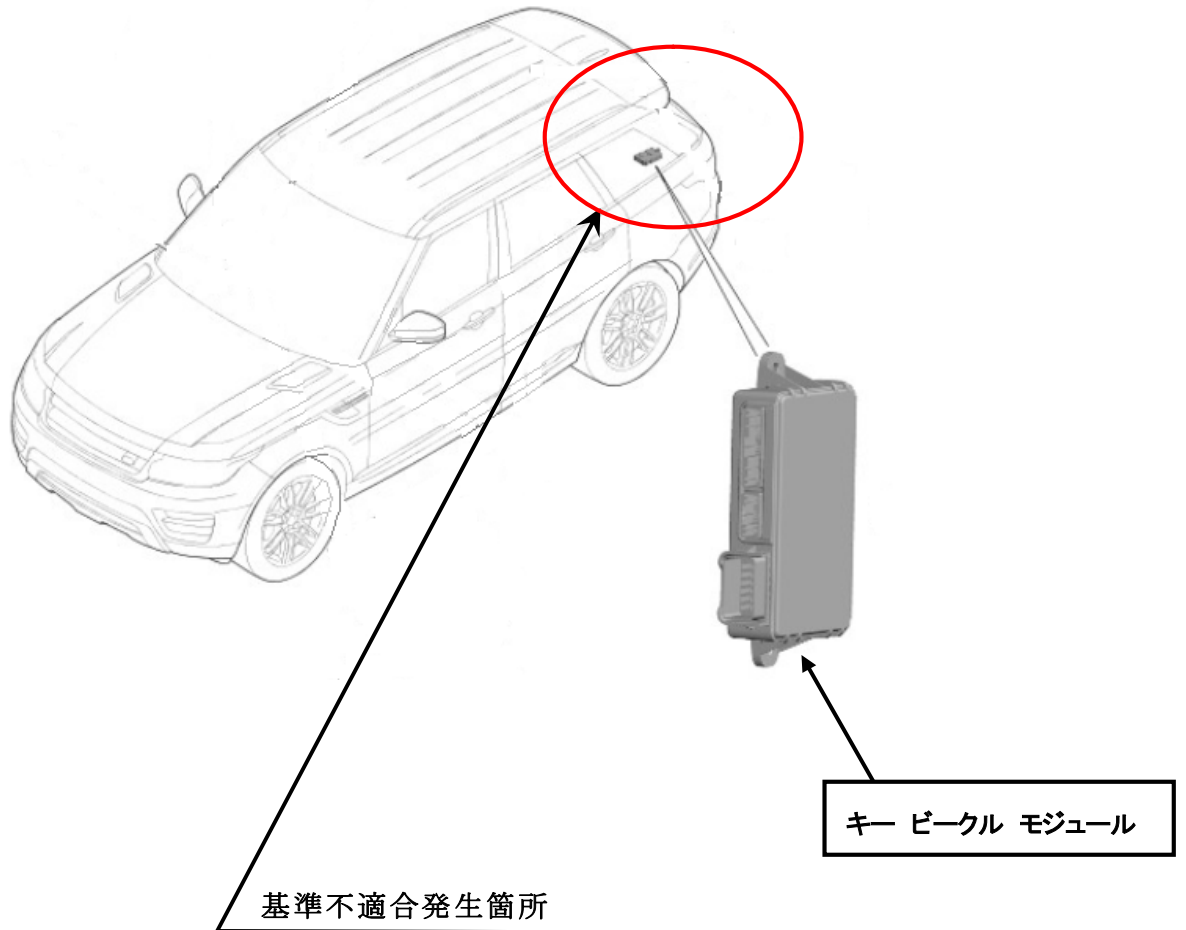


改善箇所説明図



後席の乗降扉において、施錠・開錠を制御しているコントロールモジュールのプログラムが不適切なため、リモコンで自動的にドアを開放しようとした際、ドアラッチ機構が錆びて作動抵抗が大きいと、当該コントロールモジュールからドアラッチ機構へ供給される電流が閾値を超えドアラッチを作動させるモータが停止することがある。そのため、ドアラッチが施錠以外の状態で固定され、ドアを閉めても確実にロックされず、最悪の場合、走行中に扉が開くおそれがある。

改善の内容

全車両、コントロールモジュールのプログラムを書き替える。なお、ハードウェアの古いものに関しては、コントロールモジュールを新品と交換する。

注： は点検部品を示す。